

令和7年度 十日町市立下条中学校 グランドデザイン

＜教育目標＞ 探究心に富みしなやかでたくましい生徒の育成

- ◇ 課題を明確にし取組の計画を立て、自らの意思と責任で実行・評価・改善する生徒
- ◇ 社会に関心を持ち、豊かな人間関係を築きながら協働して役割を果たす生徒
- ◇ 将来の夢や希望を明確にし、その実現に向けて力強く取り組もうとする生徒

◆十日町市が目指す子どもの姿「ふるさと十日町市を愛し、自律して社会で生きる子ども」
 ◆下条中学校区で目指す姿「気持ちよく考え 行動する子ども」
 ◇市全体で取り組む「居心地のよい学級づくり」の自校化と研究推進
 ◇いじめ防止の継続取組



下条(園)小中
一貫教育

自己理解と
自己有用感

評価と
フィードバック

憧れ・夢

豊かな人間関係

12年間の
発達段階

実効性のある園小中
一貫体制作り

ココロ↑

- ・人との交流を通じた自己肯定感の育成
- ・ちがいをよさととらえる人権感覚の醸成

まなび↑

- ・ねらいを明確にした学習習慣の定着
- ・学んだことをどう生かせるか考える姿勢の定着
- ・各生徒のニーズに応じた学びの実現

からだ・
せいかつ↑

- ・メディアを含む生活リズムを中心とした自己管理能力の向上
- ・健康に対する正しい知識の獲得
- ・体力の向上

知識・理解

学びに向かう力

思考力・判断力・表現力

持続可能な
学びの保障

教職員の異動に影響
されないシステム

リソース活用

誇り・愛着

アイデンティ
ティの確立

生徒数の減少

学校運営協議会
学校支援組織

SDGs

キャリア教育をベースとして
何を理解しているか
何が大切か

どのように
社会とかわるか

理解したこと
をどう使うか

【実態・課題・地域の願い】

- ・協力的な地域と、真面目でひたむきな生徒
- ・具体的な夢や目標、実現に向けた計画力・実行力の育成が必要
- ・全校69名の小規模を、一貫教育というメリットに転換する方策
- ・思いやりと粘り強さ、表現力を身に付け地域に貢献する人材の育成

【成果目標】

- ・平日の学習時間が全校平均90分以上
- ・各学年のアンダーアチーバーが10%以下
- ・自己有用感が高いあるいは高まった生徒が80%以上
- ・目標を持って自主的・計画的に生活した生徒が80%以上